

2020年度（令和2年度） 直鞍次世代産業研究会総会

（議案）

- ・第1号議案：2019年度（令和元年度）事業報告
- ・第2号議案：2019年度（令和元年度）決算報告
- ・第3号議案：2020年度（令和2年度）事業計画（案）
- ・第4号議案：2020年度（令和2年度）予算（案）

(1)月例役員会及び例会の開催

○各月第1木曜日を定例予定日とし、役員会を開催した。

－役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。

－後半には新規事業（ソーシャルビジネスへの挑戦）について集中協議した。

○各月第3火曜日を例会予定日とし、市場研究、事業化、人材育成の各事業項目に沿ったセミナー、視察会等を開催した。例会の概要をホームページに掲載し情報発信した。

開催期日	テ　ー　マ	概　　要
5月21日	平成31年度総会	役員改選、規約改正、事業実績・決算及び事業計画・予算の承認
6月22日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室初回実施、夢プロジェクトテーマ協議
7月20日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2回目実施
7月25日	次世代市場研究関連	県の先端研究開発支援施設（県生物食品研究所）の視察
8月25日	市産業振興ビジョン支援	わくわ～く'19の支援、キッズプログラミング教室第3回目発表会
9月20日	次世代人材育成関連	夢プロジェクト作品審査会
10月17日	次世代事業化関連	合同セミナー開催（東京都　ビジネスチャンスナビ2020）
11月15日	次世代事業化関連	丸福水産（株）若松アワビ養殖施設、北九州学術研究都市視察
1月26日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2期開始
1月29日	合同新年会	北九州市港湾物流の紹介、合同交流会
2月2日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2回目実施
2月18日	次世代事業化関連	合同視察会（デンソーアート、県機械電子研究所）実施

(2)平成31年度総会の開催

開催日:5月21日(火) 場所:エクセレントガーデン迎賓館

- 統一地方選挙の関係で一ヶ月遅れて開催
- 役員改選を行い部会長を含めた新役員体制を承認
- 規約を改正し、会費を半額にする案を承認
- 事業実績・決算及び事業計画案、予算案を承認

● 交流会	● その他報告
● 直轄次世代産業研究会総会	● 開会のあいさつ(会長)
一、開会のあいさつ(会長)	一、議長選出
一、議長選出	一、第一号議案 2018年度事業報告
一、第一号議案 2018年度事業報告	一、第二号議案 2018年度決算報告
一、第二号議案 2018年度決算報告	一、第三号議案 役員改選
一、第三号議案 役員改選	一、第四号議案 運営規定の改正(第七条会計の改正)報告
一、第四号議案 運営規定の改正(第七条会計の改正)報告	一、第五号議案 2019年度事業計画案(案)
一、第五号議案 2019年度事業計画案(案)	一、第六号議案 2019年度予算(案)
一、第六号議案 2019年度予算(案)	一、閉会の挨拶
一、閉会の挨拶	一、議長選出
一、議長選出	一、第一号議案 2018年度事業報告
一、第一号議案 2018年度事業報告	一、第二号議案 2018年度決算報告
一、第二号議案 2018年度決算報告	一、第三号議案 2019年度事業計画案(案)
一、第三号議案 2019年度事業計画案(案)	一、第四号議案 2019年度予算(案)
一、第四号議案 2019年度予算(案)	一、閉会の挨拶

式 次 第



(3)取り組んだ主な事業

①次世代に活躍する人材育成支援

①-1(新規)「次世代キッズプログラミング教室」の開催

直鞍地域の小学校高学年生とその保護者を対象に、今後益々重要なIT技術、コンピュータ技術の基礎教室を2期に分けて実施

次世代キッズプログラミング教室

参加者募集!!

～みんなはまちのプログラマー～



直鞍次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取り組みを行っています。これまで実施してきたもののアドバイス募集の「夢プロジェクト」の他に、新たな子供たちに必要とされる力の育成を目的とした支援事業を行っています。この取組を通じて、コンピュータがどのように働いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

※写真のmicro:BITを使って初步的なプログラムから体験していただけます。
※サポーターとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんがお手伝いしてくれます。
※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者
【募集期間】2019年6月7日（金）締切り
【募集条件】・保護者が送り迎えできること。
 ・インターネットができるパソコン（Windows、Mac）又はiPad等のタブレット或いはスマートフォンを持参できること。
【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）
【実施期日】（期日は変更になる可能性もあります。）
 第1回目：6月22日（土）10:00～12:00
 第2回目：7月20日（土）10:00～12:00
 第3回目：8月25日（日）10:00～12:00（のおたかわーい内）
【実施会場】直鞍産業振興センター（ADOX福岡 別館）
 直方市植木849-1 ホームページ：<https://adox.jp>
【参加費用】1,000円/一組（micro:BITを1台支給します）

【お問合せ先】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：藤元）
 TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700
 E-mail:ts2@adox-fukuoka.jp HP: <https://adox.jp>
【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて
 主催 直鞍次世代産業研究会
 共催 直鞍産業振興センター、直方市
 後援：直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

次世代キッズプログラミング教室

～みんなはまちのプログラマー～

(第2期) 参加者募集!!



直鞍次世代産業研究会では、地域貢献活動の一環として今年の夏休みに実施した「次世代キッズプログラミング教室」の第2期を実施いたします。次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取り組みとして、これまでの子供たちに必要とされるITの力を養うための試みです。この事業を通じて、コンピュータが何故、どのように働いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

※写真のmicro:BITを使って初步的なプログラムから体験していただけます。
※サポーターとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんがお手伝いしてくれます。
※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者
【応募期間】2020年1月10日（金）締切り
【応募条件】・保護者が同伴できること。
 ・インターネットができるパソコン（Windows又はMac）を持参できること。（会場はWiFi環境を備えています）
 ・3回とも参加可能など。
【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）
【実施期日】（期日は変更になる可能性もあります。）
 第1回目：1月26日（日）10:00～12:00
 第2回目：2月2日（日）10:00～12:00
 第3回目：2月24日（月・休日）10:00～12:00
【実施会場】直鞍産業振興センター（ADOX福岡 別館）
 直方市植木849-1 ホームページ：<https://adox.jp>
【参加費用】1,000円/一組（micro:BITを1台支給します）
【お問合せ先】直鞍産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：藤元）
 TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700
 E-mail:kids-pro@adox.jp <https://adox.jp/kids-programming>
【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて
 主催 直鞍次世代産業研究会
 共催 直鞍産業振興センター、直方市
 後援：直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

・第1期は主に直方市内から25組50人が参加

・第2期は主に直方市外から17組34人が参加

・鞍手高校SSH部の連携支援も得られ、高校生の地域貢献活動としても役に立った

4



ITに興味持つ キッズプログラミング教室 直方で小学生ら体験

次世代キッズプログラミング教室が22日、直方市の直轄産業振興センターで始まった。プログラミング教育がこれまでの小学校教育必修化されるのを想定、早くから子供たちに実際に興味を持ててもらおうと直方次世代産業研究会が開催。8月25日まで2回にわたって最初的なプログラミングを体験し、最終回に

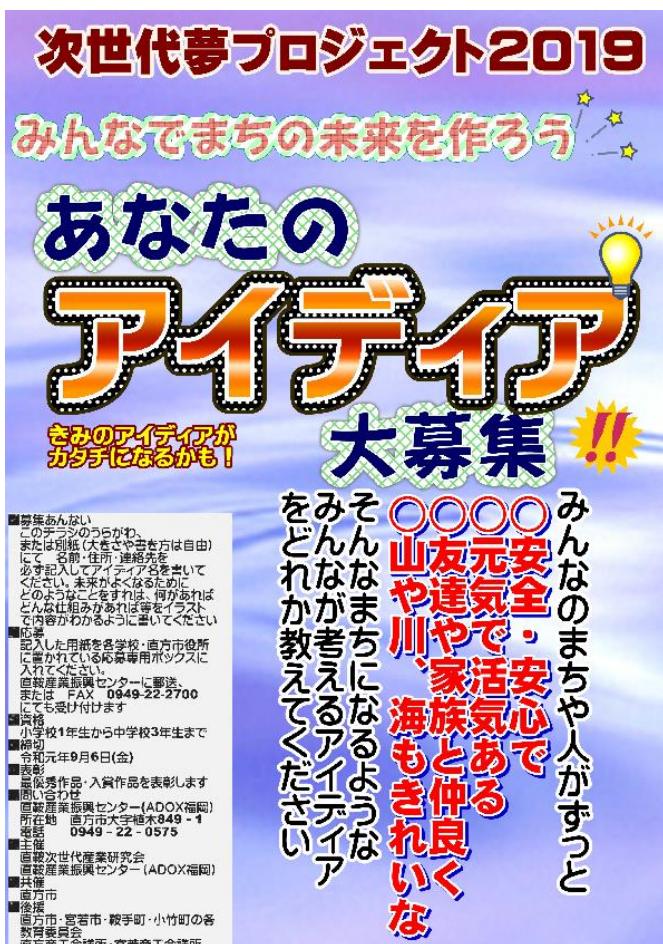
は自分たちで「ロボット」を作つたに挑戦した。ミングしたもののが発表
がある。

市内と新町の小学
4～6年生がその保護
者2組が参加。同研究
会の藤木勝日会長が
「教訓をまつかけにフ
ログランミン」と興味を
持つものなど」といひ
た。発表者は、
「手高生のサポート
を要けながら、パソ
ンやタブレットを操作
して、ネーブルート
した。」
【武内聰】

いう「直方北小」は、
高木詩詩さんは「コント
コータマに興味がある
ので、上手になりた
い」。母子橘さん(38)
は「普段はインターネ
ットを利用するが、年
齢状を作るくらいしか
パソコンを使わないの
で、何ができるかわから
ワクしてしまいます」と話
した。

①-2 「次世代夢プロジェクト」の実施

- 直鞍地域の次世代を担う小中学生を対象に、より暮らしが楽しく、地域が発展する夢のあるアイディアを募集し、優秀作品を顕彰する事業を継続して展開
- 直鞍地域 16 校から 125 点の応募があり、内 26 作品を顕彰した
- 26 作品については、イオンモール直方、直方市役所で展示し一般公開した



②セミナー等の実施

- ・次世代の市場研究、事業化等をテーマに、主に企業運営・事業発展に資するセミナー等を2回開催した。また、幅広い活動普及を図るため、関連ある内容については広く一般参加も呼び掛けるとともに、自動車産業研究会等とも連携開催を行った。



③先進機関等の視察会を実施

- ・次世代の市場研究、事業化等に資すため、県内先進企業・機関等の取組を研究する視察研修会を自動車産業研究会と共同で3回実施した。



北九州学術研究都市



丸福水産（株）



生物食品研究所



機械電子研究所



デンソーカー九州

④直方市産業振興ビジョン等の支援

【のおがた“働く” ウィークへの参加・支援】

(1) “働く” ウィーク実行委員会へ委員として参画

(2) “働く” ウィーク「わくわーく'19」への参加

①第1期キッズプログラミング教室の最終日（8月25日）の発表会をわくわーく'19のイベントとして位置づけ、広く公開した

②同日開催の鞍手高校SGH部によるビジネスプレゼンテーションの審査委員として参加し講評を行った

③同日、参加者へ向けて「そうめん」の振舞いを実施した

【直鞍ビジネス支援センター(N-biz)との連携】

研究会主催関連事業への岡田センター長の参加

夢プロジェクト表彰に直鞍ビジネス支援センター長賞の授与



⑤ 事業の総括

○令和元年度（平成31年度）は新たな取組として、次世代の人材育成に注力し、「次世代キッズプログラミング教室」に取組んだ。

参加者からの高評価を得たうえで第1期、第2期の2回実施し、合計42組で80名を超える小学生とその保護者にプログラミング、ITの足掛かりを提供できた。

また、鞍手高校との連携もできて今後につながる取組となった。次年度の取組み継続も検討する必要がある。

○夢プロジェクト事業も定着しつつあり、昨年度は直方市外の学校からの応募が増加し、アイデアの質も向上していた。受賞アイデアの中には実用化にトライできるアイデアも散見される。

次年度もテーマを考慮しながら積極的に取り組んでいく必要がある。

○情報発信については、特にホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようにした。また、フェースブックによる情報発信も行った。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。

(<https://adox.jp/business/fiw>)

○また、研究会の新たな取組を探るため、新年度に向けての新事業立案の協議を活発に行った。例年に比べ、勉強会・自己啓発的なセミナー開催は少なかったものの、プログラミング教室などの実際の活動への参加、臨時の役員会や例会の開催など、活発な運営ができた。

ただし、参加会員が固定される傾向にあり、参加会員の裾野を広げていく必要がある。

第2号議案

2019度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
入会金	0	0	0	
正会員会費	804,000	732,000	△ 72,000	34社 (9月末退会2社、未納2社)
賛助会員会費	50,000	60,000	10,000	10社 (過年度分支払い1社)
雑収入	11	161,508	161,497	預金利息
前年度繰入金	1,576,750	1,576,750	0	
合 計	2,430,761	2,530,258	99,497	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
総務	460,000	523,461	63,461	総会経費、新年会・情報交換会経費、コピー機・研修室等使用料、郵送費、その他
次世代市場研究費	150,000	158,240	8,240	講演会、視察等
次世代事業化事業費	250,000	218,167	△ 31,833	合同セミナー、企業見学会等
次世代組織人材事業費	450,000	405,772	△ 44,228	キッズプログラミング教室、夢プロジェクト
研究会情報提供事業費	136,000	127,658	△ 8,342	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	50,000	834	△ 49,166	働くwiーク関連
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	
予備費	934,761	53,790	△ 880,971	Windows10 PC購入
合 計	2,430,761	1,487,922	△ 942,839	
収支差額	0	1,042,336	1,042,336	次期繰り越し

2018年度直鞍次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金)	2,307,141	2,307,141	0	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	370	196	△174	
合 計	2,307,511	2,307,337	△174	

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,831	935,831	0	
観察研修助成費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	135	80	△55	
合 計	935,966	935,911	△55	

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を行ったので下記のとおり報告する。

記

1. 監査期日

令和2年3月17日（火）及び令和2年3月18日（水）

2. 監査場所

直鞍産業振興センター別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などを基づく会計処理の状況について説明を受け、監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

令和2年3月17日

監査役 杣野 采一

令和2年3月18日

監査役 杣野 采一



以上

第3号議案

2020(令和2)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2019年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人材育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、参加企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取組む。また、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会の活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 次世代市場研究事業

- ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催

(2) 次世代事業化事業

- ・事業化に資する技術、企業等の視察、セミナー等の開催とともに研究会独自の新規事業に取り組む
- ・新規事業：ソーシャルビジネスへの取り組み

(3) 次世代組織人材事業

- ・次世代の人材育成に資する取組みや企業人材の高度化に関する勉強会の実施
- ・キッズプログラミング教室の実施
- ・夢プロジェクトの実施

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

- ・のおがた「はたらくwiーク」への支援

(6) 視察研修助成金事業

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み



持続可能な開発目標とは17のグローバル目標と169のターゲットから成る国連の持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針。

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

持続可能な経済と社会の環境を考える

産業革命以降

アダムスミスの自己利益の追求が産業革命以降の技術的創意工夫とともに製品・ブランドを通しての自己アイデンティティの追求への

消費主義と変化 所有するための消費

浪費の為に働き消費を目まぐるしいサイクルで行い
大量生産・大量消費で「使い捨て」は当たり前の
社会システムで欲望を慢性的に喚起させる
マーケティングと実経済

現在とは

未解決な環境問題

慢性的な世界経済の衰退

コミュニティの重要性

ソーシャル・プライベートな情報伝達のインフラ

ハイパー消費での環境問題や資源・生産・社会の
非持続性
ソーシャルネットワーク・IOT等情報交換技術
の発展

これから

コミュニティへの参加欲求

自分一人だけの消費から複数・共同・長期

製品・サービス・時間・空間などを所有すること
から共同・共有する形態やコミュニティ・経済へ
意味ある活動への欲求 規模から範囲の経済

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

次世代型ビジネスとして

大量・安全・アクセスなICTのインフラの利用
共有資産のコラボ・シェアの流動
域内コミュニティの再構築と循環

空家・空き店舗・余剰社会資本キャパ
→ IoTでのサービス・ワーク・交換
域内ポイント



第4号議案

2020年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	2019年度予算 (A)	2019年度決算額	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	0	0	0	
正会員会費	804,000	732,000	756,000	△ 48,000	31社 (32名)
賛助会員会費	50,000	60,000	50,000	-10,000	
雑収入	11	161,508	200,000	199,989	預金利息、徴収会費を計上
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	1,576,750	1,576,750	1,042,336	△ 534,414	昨年度繰越金
合 計	2,430,761	2,530,258	2,048,336	△ 382,425	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	2019年度予算 (A)	2019年度決算額	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	460,000	523,461	450,000	△ 10,000	
次世代市場研究費	150,000	158,240	150,000	0	
次世代事業化事業費	250,000	218,167	350,000	100,000	経費節減を図る。
次世代組織人材事業費	450,000	405,772	240,000	△ 210,000	新規事業分を増額。
研究会情報提供事業費	136,000	127,658	140,000	4,000	キッズプログラミング教室
産業振興費	50,000	834	20,000	△ 30,000	を減額。
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
予備費	934,761	53,790	698,336	△ 236,425	次年度繰越予定
合 計	2,430,761	1,487,922	2,048,336	△ 382,425	
収支差額	0	1,042,336	0	0	

2020年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	2019度決算額 (A)	2020度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,307,141	2,307,337	196	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	196	230	34	
合 計	2,307,337	2,307,567	230	

2. 観察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	2019度決算額 (A)	2020度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
観察研修助成費(前年度積立金)	935,831	935,911	80	
観察研修助成費(当年度積金)	0	0	0	
預金利息	80	93	13	
合 計	935,911	936,004	93	